

平成24年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
研究進捗評価 現地調査報告書

研究課題名	経済危機と社会インフラの複雑系分析
研究代表者名 (所属・職)	矢野 誠（京都大学・経済研究所・教授）

【評価コメント】

本研究は、「市場の質」を主要概念として、経済危機と社会インフラストラクチャーを複雑系によって分析し、危機回避・脱却に向けた新たな政策パラダイムを確立することを目指している。

研究開始から2年度にあたる本年度において、研究進捗評価に係る現地調査（ヒアリング及び研究施設の視察）を実施した。総合的な評価コメントとして、当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待通りの成果が見込まれるといえる。

初年度（平成23年度）においては、資本市場に関する第1回のパネル調査や震災・原発に関する社会調査など、データ構築に多くの資源が配分されている。蒐集データのクリーニングは終わっていない模様だが、目的やサンプル数、実施方法は妥当なものであり、成果が期待できる。

さらに、世界をリードしている複雑系理論を応用して、「市場の質」と危機の相互関連に関する基礎理論モデルを構築することは、ほぼ目的を達成していると推察された。2年度以降は、これらの理論をもとにデータ構築や実証研究を進めていくことが望ましい。

また、採択後に発生した東日本大震災や原発事故についても、複雑系理論の分析枠組みの根本的な再検討も含めて調査と分析を行い、情報発信することが望ましい。

なお、研究組織（研究分担者）に一部変更が認められるが、その理由は妥当なものである。